

2005～2007年度
中期経営計画

2005年10月26日(水)

フロイント産業株式会社

将来予測に関する注意事項

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた経営判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定などを前提としています。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢や業界動向、競合企業との技術・価格競争、取引先との関係、戦略的業務提携、新規事業への取組み、知的財産権の侵害、為替レートの変動などがあり、広範多岐に亘っております。

目 次

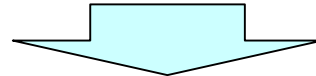
基本方針	1
重要施策	
・ 成長戦略	2
・ 収益力の向上	3
・ 経営体質強化	4
定量計画の要約	
・ 連結売上高（部門別売上高）	5
・ 連結営業利益・利益率	6

基本方針

フロイントグループのモットー
創造力で未来を拓く

2005～2007年度中期経営計画

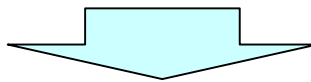
国際化への果敢なチャレンジ



内外のユーザーニーズを捉えた、
研究開発型企業として、
社会的存在価値の向上を図っていく。

重要施策 . 成長戦略

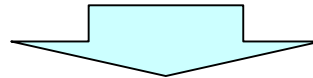
知的財産権など保有する技術を活用し、
造粒及びコーティング技術をコアテクノロジーとしたハードとソフト
戦略的業務提携
グループ各社のシナジー効果 など
効率的な事業展開を推進。



- ・ R & Dの優先順位を明確化し、成長分野へ経営資源を集中
- ・ 各部門が相互に連携しながら、それぞれの事業領域に集中

重要施策 . 収益力の向上

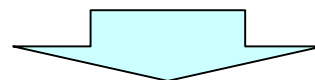
一人当たりの生産性向上と
利益の絶対額の増加を図り、
収益力を高め、強固な収益構造を目指す。



- ・グループ各社では、計画期間中に「一人当たり営業利益」を30%アップ

重要施策 . 経営体質強化

事業活動への寄与が期待できない非戦略資産等を見直し、スリムで筋肉質のグループ集団を目指す。



- ・ 事業に関係ない非戦略資産は処分し、資産の効率性を高める
- ・ グループ各社の繰延税金資産等の回収可能性を確実なものとする

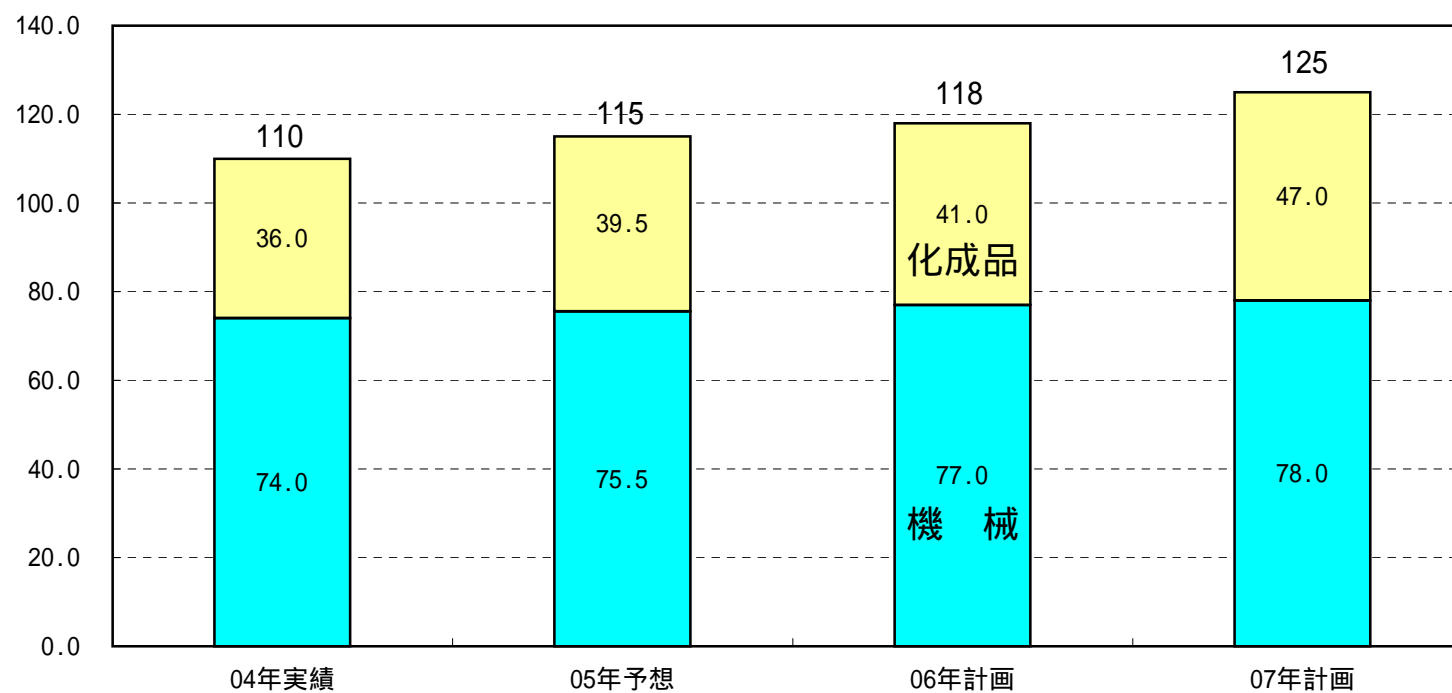
2005～2007年度

定量計画の要約

連結売上高（部門別売上高）

（億円）

	2004年 （実績）	2005年 （予想）	2006年 （計画）	2007年 （計画）
連結売上高	110	115	118	125
機 械	74.0	75.5	77.0	78.0
化成品	36.0	39.5	41.0	47.0



連結営業利益・利益率

(億円)

	2004年 (実績)	2005年 (予想)	2006年 (計画)	2007年 (計画)
連結営業利益	5.2	6.4	9.0	10.0
連結営業利益率	4.7%	5.6%	7.6%	8.0%

